



楽しい

- 楽しい
- 幸せ
- 晴れ晴れする
- 上きげん
- ゆかい
- うららか

うれしい

- うれしい
- よろこぶ
- めでたい
- 大よろこびする
- 有頂天 (★)

◎ 思いどおりになり、明るい気持ち  
◎ 満足していい気分

うれしい・楽しい

さびしい

- さびしい
- 心細い
- 不幸せ
- わびしい (★)

悲しい

- 悲しい
- つらい
- 物悲しい
- 落ちこむ
- 落ち着かない
- 表情がくもる

◎ 泣きたいようなつらい思い

悲しい・さびしい

1 人物の気持ち

1 うれしい・悲しい

1 次の文に合う言葉をえらび、記号に○をつけなさい。

(1) 兄が大学受験に合格したという

(ア) めでたい / イ つらい) 知らせがとどいた。

(2) 春の風がさわやかにふいてきて、

(ア) さびしい / イ うららかな) 気分だ。

(3) せっかくの休日に一人ぼっちで家にいるので、

(ア) ゆかいな / イ わびしい) 気持ちになる。

2 次のイラストの様子に合う言葉をえらび、記号に○をつけなさい。

(1) さいふを落としてしまい、

(ア) しょんぼりする。  
イ 小おどりする。

(2) 落としたさいふを見つけて、

(ア) しょげる。  
イ ほっとする。



3 上の文につづく言葉を下からえらび、——線でむすびなさい。

(1) 元気で毎日をすごせることが . . . 大よろこびする。

(2) はじめての町に一人で行くのは . . . 表情がくもる。

(3) 悪い知らせを聞いて、 . . . 幸せだ。

(4) 宝くじが当たったことを知って . . . 心細い。

### 気持ちの動き

- うかれる
- はしゃぐ
- 小おどりする
- ばんばんざい (★)

### その他

- ほっとする
- うきうきする

### 気持ちの動き

- しょげる (★)
- しょんぼりする
- へこむ

### その他

- 不安になる
- 気落ちする
- 気が重い
- みじめ
- 力を落とす

意味を確認しよう

★有頂天：得意な気持ちがこれ以上ないほど高まること。

例 水泳大会で優勝して有頂天になる。

★わびしい：心細くて、なぐさめられない様子。

例 一人きりの食事はわびしい。

★ばんばんざい：「ばんざい」を強調した言葉。これ以上ないほど満足な様子。

例 ほしいものを安く買うことができてばんばんざいだ。

★しょげる：失敗したりがっかりしたりして、元気がなくなる。

例 母にしかられて妹はすっかりしょげてしまった。

4 次の文章中の（ ）に合う言葉を後の□からえらび、記号で答えなさい。

校内の水泳大会で優勝したぼくは、市の水泳大会の選手にえらばれて（①）になっていた。自分よりも速く泳げる人はいないと思いい（②）いた。そして、市の水泳大会に出て優勝する自分を想像して思わずにやりとしてしまうような（③）気持ちになっていた。

しかし、大会の日に会場に行って（④）なった。参加者は体も大きく、泳ぐスピードも速い。ぼくは急に（⑤）気持ちになり、そわそわした。自分は最下位になり、（⑥）気持ちで帰ることになるかもしれないと不安になった。

- ① ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ② ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ③ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ④ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ⑤ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )
- ⑥ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

- |   |      |   |      |   |        |
|---|------|---|------|---|--------|
| ア | うかれて | イ | みじめな | ウ | 心細く    |
| エ | ゆかいな | オ | 有頂天  | カ | 落ち着かない |

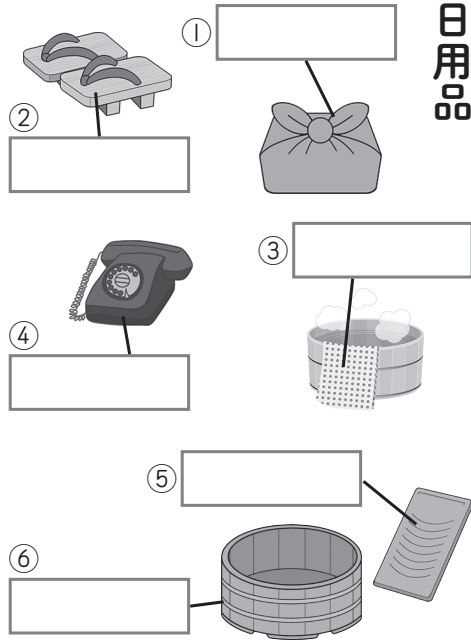
1 「はしゃぐ」を使って文を作りましょう。

2 「気が重い」を使って文を作りましょう。

5 昔むかしの生活 (3)

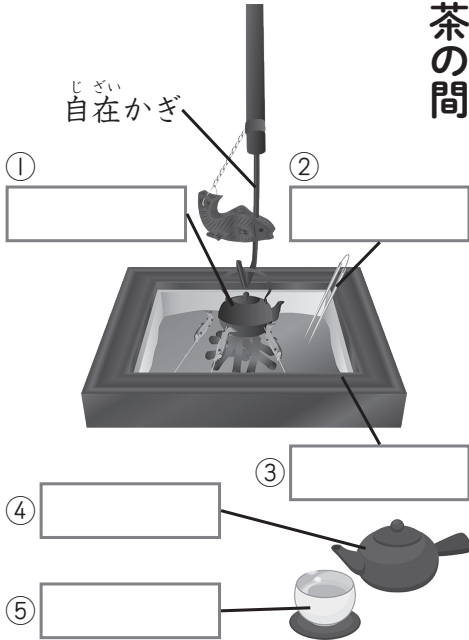
● イラストの□に合うものを、言葉からえらんで書きなさい。

日用品  
にちようひん



- 言葉
- 洗せんたくいた板
  - ぬげぐたい
  - 黒電話
  - 手ぬぐい
  - ふろしき
  - たらい

茶の間



- 言葉
- きゆうす
  - 火ひばし
  - 湯ゆのみ
  - やかん
  - いろり

1 上の説明せつめいに合う言葉を下からえらび、——線せんでむすびなさい。

- (1) 水みづなどを入れて使うつか平たい入れ物いれもの
  - ・ 手ぬぐい
- (2) 指ゆびではじいて遊ぶあそぶおもちゃ
  - ・ たらい
- (3) お茶などを飲のむためのうつわ
  - ・ 湯のみ
- (4) 手や顔をぬぐうための長方形のぬの
  - ・ おはじき

2 次の文ぶんに合う言葉ことばをえらび、記号きごうに○をつけなさい。

- (1) きゆうすに湯すいを注そそいでお茶を
  - イ わかす
  - ア 入れる

- (2) ふろしきで荷物にもつを
  - ア 入れる
  - イ つつむ

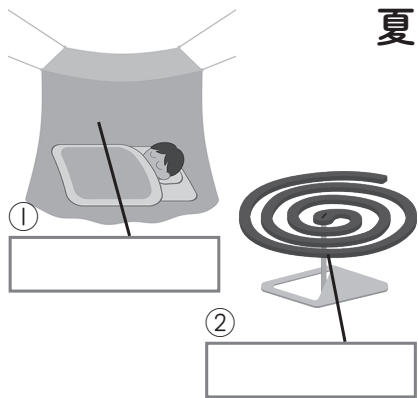
- (3) 祖父そふが作つくってくれた竹馬たけうまに
  - ア 乗のる
  - イ かる

- (4) 夏の夜なつよ、寝室しんしつにかやを
  - ア つる
  - イ 立てる

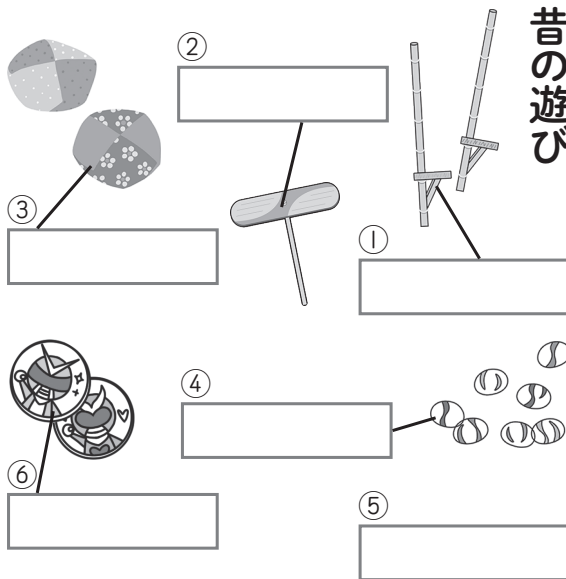
夏

言葉

- かとり線香
- かや



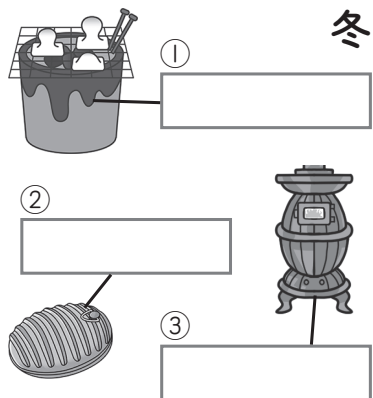
昔の遊び



冬

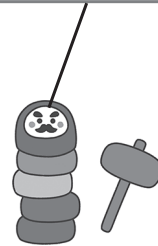
言葉

- 火ばち
- 湯たんぽ
- だるまストーブ



- お手玉
- めんこ
- おはじき
- 竹馬
- だるま落とし
- 竹とんぼ

言葉



3 次の文章中の ( ) に合う言葉を後の [ ] からえらび、記号で答えなさい。

昔は、家にゆかを四角く切りぬいてつくった ( ① ) があり、まきや炭に火をつけて、その火になべや ( ② ) をかけ、料理をしたり湯をわかしたりした。まきや炭は熱いので、つかむときは金属でできた ( ③ ) を使った。

また、冬には、炭や灰を入れた ( ④ ) を部屋において、手を温めたり食べ物をおぼったりした。その他、湯を入れた ( ⑤ ) や、石炭などを燃料とする ( ⑥ ) を使って体や部屋を温めた。

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )
- ⑥ ( )

- ア やかん
- ウ 火ばち
- オ 火ばし
- イ 湯たんぽ
- エ いろいろ
- カ だるまストーブ

1 「かとり線香」を使って文を作りましょう。

2 「お手玉」を使って文を作りましょう。